

浅草との絆より強く

5月27日(日)に浅草で行われた「第10回隅田川水面の祭典2018」に招待いただきました。

石木戸町長をはじめ、町関係者など多くのかたが参加しました。浅草との交流は昨年度の「交流宣言」から始まり、水面の祭典参加は昨年続き2回目です。

石木戸町長はいさつで「今後、8月に開催の秩父音頭まつりへの招待や、9月の浅草の盆踊り大会に町で使用していた櫓を提供し、秩父音頭の披露を行いたい」と更なる交流を深める意向を伝えました。

今回は浅草との末永い交流に結びつくよう、将来の町を担う子どもたちの交流に重点を置きました。

さまざまなメディアで取り上げられている皆野高校生の「激推イノシカバーガー」100食の提供や皆野民俗芸能奏楽研修会少年部による「秩父音頭」、皆野棕神社神楽曲「代参宮」、同神社獅子舞曲「太神楽囃子」、を演奏しました。



皆野高校生は、訪れたお客さんとコミュニケーションを図り、「イノシカバーガー」をていねいに提供していました。試食されたかたも満面の笑みを浮かべていました。

「イノシカバーガー」の味と『おもてなし』の心が伝わりました。



皆野民俗芸能奏楽研修会少年部は、数々の伝統芸能を守る使命感を持って、皆野の伝統芸能を披露し、「皆野町」をしっかりとPRしました。



そのほかにも町の名物である「田舎味噌」「秩父おなめ」の試食をしていただき、皆野の「食」も大好評でした。